

平成22年度決算に係る

定期監査
決算審査
調書

平成23年4月

農林総合研究所中小家畜試験場

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	1頁
	(2) 監査意見	1頁
	(3) 決算審査意見	1頁
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	1頁
6	主な事業に関する調べ	2頁
7	決算調書(総括表)	6頁
8	事業別実施状況調べ	7頁
9	予備費の充用調べ	7頁
10	繰越関係調べ	7頁
11	収入証紙取扱額調べ	6頁
12	収入事務処理状況調べ	8頁
	(1) 分担金及び負担金	8頁
	(2) 使用料	8頁
	(3) 手数料	8頁
	(4) 財産収入	8頁
	(5) 寄付金	8頁
	(6) 諸収入	8頁
	(7) 現金の取扱状況	8頁
13	税外収入未済額調べ	9頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	10頁
15	税外収入不納欠損額調べ	10頁
16	債務負担行為の状況調べ	10頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	10頁
	(1) 負担金	10頁
	(2) 補助金	10頁
	(2-2) 補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	10頁
	(3) 交付金	10頁
	(4) 委託料	11頁
	(4-2) 委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	11頁
18	工事請負費調べ	11頁
18-2	工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	11頁
19	財産に関する調べ	12頁
	(1) 公有財産	12頁
	(2) 金券類の受払状況	16頁
	(3) 基金	16頁
	(4) 債権	16頁
20	財産の貸付及び使用許可調べ	16頁
	(1) 土地及び建物	16頁
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)	16頁
21	借受不動産明細調べ	16頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	17頁
	(1) 職員住宅	17頁
	(2) 職員駐車場	17頁
23	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	17頁
24	寄附物件の受納状況調べ	17頁
25	備品の処分状況調べ	18頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	18頁
27	貸付金等状況調べ	18頁
28	事業別予算執行状況調べ	19頁
29	農業機械の管理状況	20頁
30	生産物(品)に関する調べ	21頁
31	試験研究調査事業別実施状況調べ	22頁
○	意見、要望等	28頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況
該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
中小家畜試験場	養豚研究室	(1) 畜産経営技術の改善に関すること。 (2) 豚の改良繁殖、管理、飼育方法、育成、肥育及び飼料に関すること。 (3) 豚の人工授精及び生物工学に関すること。 (4) 家畜の経済能力検定に関すること。 (5) その他畜産振興に関すること。
	環境・養鶏研究室	(1) 畜産経営技術の改善に関すること。 (2) 鶏の改良繁殖、管理、飼育方法、育成、肥育及び飼料に関すること。 (3) 家畜に係る環境の改善に関すること。 (4) 種鶏の種卵及び地どりのひな配布に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成23年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	当該年度	22.4.1現在	
定員	0	0	10	10	3	3	13	13	
現員			10	10	3	3	13	13	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	1	0	1	0	緊急雇用 1
非常勤職員	1	0	0	0	5	5	6	5	畜産技術員 5

5 役付職員の調べ

(平成23年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
場長	松田 義人	0	0	
養豚研究室長	千代 隆之	0	0	
環境・養鶏研究室長	岡本 英夫	2	0 (通算2年)	

事業名	概	要
<p>「鳥取地どりピヨ」の改良試験</p> <p>決算(見込)額 12,519千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 12,079千円 財産収入 440千円</p> <p>○将来ビジョン 素材が良く、安全、安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業</p>	<p style="text-align: center;">「鳥取地どりピヨ」の改良試験の流れ</p> <p style="text-align: center;">独立行政法人 家畜改良センター</p> <p>毎年導入 鳥取県中小家畜試験場 H16導入</p> <p>(i) 交雑種鶏の血統固定化試験 (H16-23 第1選抜) (H24-27 第2選抜)</p> <p>原種鶏の能力検定→原種鶏の選定、情報提供</p> <p>原種鶏の導入 (H16年度)</p> <p>交雑種鶏の能力検定→交雑種鶏の選定</p> <p>交雑種鶏 ♂</p> <p>H15~21年度 交雑種鶏の選定、ヒナ生産へ利用</p> <p>H17~23年度 交配・選抜</p> <p>H22年度よりヒナ生産へ利用</p> <p>H27年度 完成</p> <p>鳥取シャモ (仮称)</p> <p>(2) 種鶏 (母鶏) の相性検定試験 (H21-22)</p> <p>交雑種鶏 白色ブラマロク</p> <p>現在の「鳥取地どりピヨ」</p> <p>現在使用中の白色ブラマロクが白色になる因子を保有、ピヨが白色化。地鶏の「ブー」は有色であり、販売促進を阻害。</p> <p>有色の羽色のピヨを作出 優れた白色ブラマロクを選定。 ⇒選定した白色ブラマロクをヒナ生産に使用。</p> <p>(3) ヒナ生産試験 (H21~)</p> <p>交雑種鶏 ♂ 白色ブラマロク ♀</p> <p>ヒナの生産、供給 (年間4,000羽)</p>	
<p>「鳥取地どりピヨ」の元となる種鶏は、全て県外導入に依存しており、生産性や品質の安定性等に問題が残っているため、鳥取県独自の地鶏種鶏群(雄系)への改良を図る。あわせて、「鳥取地どりピヨ」の雌種鶏(母鶏)の遺伝的因子により、ピヨが白い羽色となり、外見的にブロイラーとの区別が難しいという現状にある。そこで、ピヨの羽色を本来の有色のものに戻すため、有色にするための因子を持つ2つの母鶏の系統から、より良い方を選ぶため、相性検定試験を行う。</p> <p>また、民間の旧山陰食鶏農協の地鶏生産休止に伴い、地鶏のヒナ生産、出荷も休止された。</p>		

事業名	概 要
	<p align="center">Ⅰ「鳥取地どりピヨ」の種鶏改良に係る交雑種鶏の血統固定化試験(H16-27)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的</p> <p>「鳥取地どりピヨ」の元となる種鶏は、全て県外導入に依存しており、生産性や品質の安定性等に問題が残っているため、鳥取県独自の地鶏種鶏群(雄系)への改良を図る。平成16年度に基礎鶏4系統(雄:シャモ、雌:ロードアイランドレッド、各2系統)を導入、交配して得られた交雑種鶏を更に累系交配することにより、均一性の高い種鶏群の造成を行い、平成27年度に県内生産者へ供給する。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5世代鶏(M5)を血縁係数を元に人工授精し、第6世代鶏(M6)を作出した。 ・第6世代鶏(M6)の増体、産肉能力等の生産能力、とさか等の外貌等の選抜基礎データを収集した。 ・単冠(*1)の発現状況及び単冠因子の保有状況を確認した。 <p>*1:単冠とは、プロイラーで見られる大きな1枚のとさか。「鳥取地どりピヨ」は地鶏らしさを表現するため、シャモのとさかである三枚冠(小さなとさかが3列に並んだとさか)へ固定する方向。</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選抜のための育種価を、増体、産肉量のデータより算出した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5世代鶏を選抜交配した第6世代鶏は、体重も増加し、とさかについても単冠除去が進んだ。 <p>エ 課題</p> <p>単冠除去については、引き続き、発現個体の淘汰とあわせて遺伝子情報を利用し単冠因子保有個体を除去していく。今後の選抜手法として、従来の育種価等に加えて産卵率に関与する遺伝子情報も利用し選抜を行い、より効率的な育種を行う。</p>
	<p align="center">Ⅱ「鳥取地どりピヨ」の種鶏(母鶏)の相性検定試験(H21-H22)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的</p> <p>羽色の白色化により、農家段階での販売阻害要因になっているため、ピヨの羽色を本来の有色に戻す。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母鶏の白色プリマスロック(2系統)を導入して、その生産性を検定した。 ・GSR(シャモ雄×ロードアイランドレッド雌)雄と白色プリマスロック(2系統)雌を交配し、ピヨを作出して生産性を検定した。 <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピヨの肥育試験において、急激な増体による脚弱の発生を防ぐため、早い段階(2週齢以降)でパタリーケージから平飼い飼育に変えた。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピヨの羽色が改善されるなど、より優れた母鶏を選抜導入し、ヒナ生産に用いることができた。 <p>(詳細は、31試験研究調査事業別実施状況調べ参照)</p> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒナ生産に用いる母鶏の白色プリマスロックの性能について今後情報収集していく必要がある。

事業名	概要
	<p style="text-align: center;">Ⅲ 「鳥取地どりピヨ」のヒナ生産試験(H21-)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的</p> <p>旧山陰食鶏農協による地鶏生産休止のため、農家への「鳥取地どりピヨ」のヒナ供給が停止したことを受け、「鳥取地どりピヨ」のヒナを生産し、農家へ安定的に供給する。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒナ生産のための親鶏を作出、導入し、種鶏として使用するため、制限給餌等をしながら飼育した。 ・ヒナ出荷に向けて計画的に集卵、貯卵を行い、定期的にくま卵、孵化作業を行った。 <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孵化率改善のため、くま卵前の加温プログラムを検討し、変更した。 ・生産現場でのピヨの尻つつき防止のため、初生でのデビーク(*)を実施した。 <p>*:デビークとは、ヒナの嘴を3分の1程度カットすること。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H23年1月末までに4118羽出荷し、年間4000羽供給目標を達成することが出来た。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、農家の要望に応じ、さらに増羽し安定供給する必要がある。

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>豚凍結精液の生産技術の改善試験 決算額 22,701千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 11,998千円 その他 10,703千円</p> <p>○将来ビジョン 素材が良く、安全、安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 肉豚の生産農場でも使える、融解後の活力の高い凍結精液の生産技術を確立する。また完成した系統豚「大山赤ぶた(デュロック種)」の種豚を維持管理し、銘柄豚「大山ルビー」用の黒豚(パークシャー種)種豚を生産管理することにより、農家に液状精液を供給し、農家の生産性の向上及び利益の増大を図る。</p> <p>(イ)事業の実施状況 1)21年度に引き続き、生産方法を改善した凍結精液による交配試験を行った。 2)産子数を向上させるため、精液を子宮の深部に注入するカテーテルによる交配試験を行った。 3)凍結精液の農家実証試験を実施した。 4)系統豚「大山赤ぶた(デュロック種)」を維持管理しまた、銘柄豚「大山ルビー」用の黒豚(パークシャー種)の種豚を生産開始した。</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 (ア)深部注入カテーテルの試験実施と、そのカテーテルを使用した農家実証試験を実施した。また、農家実証試験の課題として挙げた泡立ちの少ないタイプの深部注入カテーテルによる交配試験を実施した。</p> <p>(イ)育種価及び産肉成績を考慮し、大山赤ぶた維持群の肢蹄の弱い個体を淘汰した。</p> <p>ウ 成果 ・試験場内での深部注入による凍結精液の受胎率は100%であった。産子数は、今後の分娩により確定する。 ・大山赤ぶたの肢蹄の改良ができた。</p> <p>エ 課題 農家実証については、液状精液での受胎率71%に対し、凍結精液では63%であった。農家実証で使用した深部注入カテーテルは、ゴム管式で収縮するため、注入の際に泡立ち、精子活性を著しく損なうことが判明した。現在、場内では注入時に泡立ちの少ない別のタイプのものを試験している。その効果が判明次第、再度農家実証を実施する。</p>
<p>鳥取県産オリジナル高品質豚開発試験 決算額 13,064千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 9,711千円 その他 3,353千円</p> <p>○将来ビジョン 素材が良く、安全、安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア)目的 平成21年度に肉質に優れた「大山赤ぶた」(デュロック種:D)の系統が完成したが、これに黒豚(パークシャー種:B)を交配して高品質でオリジナル性の高い鳥取県独自の特産豚「大山ルビー」(DB)を開発し、養豚農家の所得向上を図る。具体的には、パークシャー種の系統造成を行うとともに、DBの欠点である厚脂及び発育を改善するための肥育試験を行い、DB種の生産性向上を図る。</p> <p>(イ)事業の実施状況 平成22年度はパークシャー種系統造成の基礎雌豚20頭を導入し、血縁等を考慮した交配を行った。肥育試験についてはリジン添加試験及びオクタン酸添加試験を実施中である。</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 基礎雌豚の県外からの導入にあたっては家畜伝染病を予防するため、オーエスキー病及びPRRS※1に罹患していない個体を導入した。 また、肥育試験では肥育豚の脂肪細胞を生体から採材して凍結保存しており、今後RNA※2を調査する予定である。</p> <p>ウ 成果 基礎雌豚は、血統的にパラツキのある個体を導入することができた。 肥育試験は、現在実施中のため、今後分析結果を出す予定。</p> <p>エ 課題 パークシャー種の系統造成は背脂肪厚及びオレイン酸割合を選抜項目とする予定であるが、選抜項目については食味、過剰増体忌避に関係する形質の追加及び各項目の重み付けの検討が必要である。</p>

※1: PRRSは豚繁殖・呼吸障害症候群の略で、感染すると生産性が著しく低下する。現在本場は陰性農場である。
 ※2: 細胞の遺伝情報を読み取り合成する機能を持った分子の配列(リボ核酸)のこと。RNA上のアミノ酸配列を見ることが、どのような遺伝子が関与しているかが判る。

7 決算調整書(歳出調整)
(総括表)

(平成23年1月31日現在)
(単位:円)

区分	科目	予算				算現額			差引増減額 A-B-C	年度 繰越 額	備考
		当初予算額	補正予算額	繰越額	繰越額	経費及 事業 繰越額	資本 支出 額	資本 増減 額			
農	農業総務費	8,483,000				8,483,000			5,178,327		3,304,673
	農業改良普及費	75,499,000			933,000	76,432,000			28,276,185		48,155,815
	農業試験場費	58,206,000	3,386,000		85,291,000	146,883,000			63,106,161		83,776,839
	園芸試験場費	151,793,000	504,000		14,489,000	166,788,000			84,734,284		82,053,716
	畜産試験場費	124,594,000	4,999,000		7,272,000	136,865,000			86,897,117		49,967,883
	中小家畜試験場費	68,272,000	5,697,000			73,969,000			39,581,623		34,387,377
	林業振興費	8,766,000				8,766,000			3,174,402		5,591,598
	林業試験場費	59,350,000	3,000,000		14,839,000	77,189,000			27,418,437		49,770,563
	合計	554,965,000	17,586,000	122,824,000	0	695,375,000			338,366,536	0	357,008,464
	農林水産業手数料	3,606,000	0			3,606,000			1,774,890		1,831,110
農林水産薬園庫補助金	22,940,000	14,215,000		101,771,000	138,926,000			12,268,000		126,658,000	
農林水産薬園庫委託金	1,007,000	0			1,007,000			0		1,007,000	
防産貸付収入	242,000	0			242,000			42,266		199,734	
生産物売払収入	53,952,000	0			53,952,000			48,753,265		5,198,735	
家畜類売払収入	23,989,000	0			23,989,000			36,078,671		△ 12,089,671	
農林水産薬寄附金	0	3,000,000			3,000,000			3,000,000		0	
級葉等検査受託収入	18,608,000	0			18,608,000			2,755,000		13,853,000	
農林水産研究高度化受託収入	2,850,000	0			2,850,000			2,730,000		120,000	
農業・食品産業技術総合 研究機構受託事業収入	250,000	0			250,000			500,000		△ 250,000	
プロジェクト研究受託収入	1,000,000	0			1,000,000			1,000,000		0	
現地普及型肥育技術実証 試験受託事業収入	360,000	0			360,000			360,000		360,000	
森林総合研究所受託事業収入	1,767,000	0			1,767,000			1,768,000		△ 1,000	
関西地区林業試験研究機関 連絡協議会受託事業収入	2,040,000	0			2,040,000			1,630,000		410,000	
日本種苗協会受託事業収入	0	600,000			600,000			500,000		100,000	
雑収入	783,000	0			783,000			508,526		274,474	
小計	131,394,000	17,815,000	101,771,000	0	250,980,000			113,308,618	0	137,671,382	
一級費充当	423,571,000	△ 229,000	21,053,000	0	444,395,000			225,057,918	0	219,337,082	
合計	554,965,000	17,586,000	122,824,000	0	695,375,000			338,366,536	0	357,008,464	

8 事業別実施状況調べ

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(中小家畜試験場費)					
中小家畜試験場 管理運営費	22,574,000	10,691,023	0	11,882,977	施設の維持管理、非常勤職員の雇用等、試験場の管理運営を行った。
開かれた畜産研究機関・ 交流推進事業	126,000	126,000	0	0	広く県民に対し、展示パネル等により、研究成果の説明、新技術の伝達を行なった。
「鳥取地どりピヨ」の改 良試験(主)	12,519,000	4,184,400	0	8,334,600	6 主な事業に関する調べに記載 3 1 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
鶏の飼料米給与試験	863,000	574,650	0	288,350	3 1 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
天敵を利用したイエバエ 防除試験	826,000	754,300	0	71,700	3 1 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
高品質堆肥製造技術の検 討	1,296,000	912,800	0	383,200	3 1 試験研究調査事業別実施状況調べ に記載
豚凍結精液の生産技術の 改善試験(主)	22,701,000	13,053,250	0	9,647,750	1 6 主な事業に関する調べに記載 「3 1 試験研究調査事業別実施状況 調べに記載」
鳥取県産オリジナル高品 質豚開発試験(主)	13,064,000	9,285,200	0	3,778,800	「6 主な事業に関する調べに記載」 「3 1 試験研究調査事業別実施状況 調べに記載」
目 計	73,969,000	39,581,623	0	34,387,377	
合 計	73,969,000	39,581,623	0	34,387,377	

9 予備費の充用調べ 該当なし

10 繰越関係調べ 該当なし

11 収入証紙取扱額調べ 該当なし

12 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料		2	3,540	3,540	0	0	鳥取県行政財産使用料 条例	
	計(節)		2	3,540	3,540	0	0		
目計			2	3,540	3,540	0	0		
合計			2	3,540	3,540	0	0		

(単位:円)

(3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
生産物売払収入	生産物売払収入	精液	129	1,371,300	1,362,900		8,400	生産品事務取扱要領	
		ヒナ	18	399,300	399,300		0	"	
	計(節)		147	1,770,600	1,762,200	0	8,400		
家畜類売払収入	家畜類売払収入	豚売払	134	11,102,062	10,274,646		827,416	生産品事務取扱要領	
		計(節)	134	11,102,062	10,274,646	0	827,416		
目計			281	12,872,662	12,036,846	0	835,816		
合計							0		

(単位:円)

(5) 寄付金 該当なし

(6) 諸収入 該当なし

(7) 現金の取扱状況 該当なし

(単位:円)

13 収入未済額調べ

(単位:円)

区分 収入科目 目	前年度 以前からの繰越額		過年度		年度分			現年度分			収入未済額 計(A+B)	未收理由
	左のうち 収入済額	不納 欠損額	差引収入 未済額(A)	収入未済額の調定年度内訳			収入 未済額 (B)	収入済額	調定額			
				19年度 以前	20年度	21年度						
生産物売 払収入	0	0	0	0	0	0	0	8,400	8,400	8,400	8,400	納期未到来
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計(節)		0	0	0	0	0	0	8,400	8,400	8,400	8,400	
家畜類売 払収入	0	0	0	0	0	0	0	827,416	827,416	827,416	827,416	納期未到来
	0	0	0	0	0	0	0	827,416	827,416	827,416	827,416	
計(節)		0	0	0	0	0	0	835,816	835,816	835,816	835,816	
目 計												
雑入											0	
											0	
目 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計		0	0	0	0	0	0	835,816	835,816	835,816	835,816	

- | | |
|---------------------------------|------|
| 14 未収金回収促進のための取り組み状況調べ | 該当なし |
| 15 税外収入不納欠損額調べ | 該当なし |
| 16 債務負担行為の状況調べ | 該当なし |
| 17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ | 該当なし |
| (1)負担金 | 該当なし |
| (2)補助金 | 該当なし |
| (2-2)補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行するもの) | 該当なし |
| (3)交付金 | 該当なし |

(4)委託料

(単位:円)

予算科目 (目)	国庫 単 別の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約		入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完了 年月日	支出の状況		備考	
				予定価格	変更契約(最終)			契約期間	契約形態		支出区 分
中小家畜試験場費	単県	電気保安業務委託料 (本場)	森田電気管理事務所	(H22.4.1) 311,220	H22.4.1 ~ H23.3.31	H22.3.23 (免除)	H22.4.6外 H22.4.6外	精算	H22.4.16外	259,350	
中小家畜試験場費	単県	ダイオキシン類濃度測 定 分析業務	(社)鳥取県保健事業団	(H22.4.1) 279,300	H22.4.1 ~ H23.3.31	H22.3.29 (免除)	H22.12.8外 H22.12.15外	精算			
中小家畜試験場費	単県	焼却炉保守点検	インシナー商事(株)	(H22.4.1) ()	H22.4.1 ~ H23.3.31	H22.3.15 (免除)	H22.6.8 H22.6.8	精算	H22.7.2	346,500	
中小家畜試験場費	単県	機械警備委託(本場)	大同警備保障(有)	(H22.4.1) 333,900	H22.4.1 ~ H23.3.31	H22.3.25 (免除)	H22.5.1外 H22.5.1外	精算	H22.5.18外	250,425	
中小家畜試験場費	単県	網屋分場除草業務	(社)南部広域シルバ― 人材センター	(H22.5.25) 471,600	H22.5.25 ~ H23.3.31	H22.5.21 (免除)	H22.11.15外 H22.11.15外	精算	H22.11.26外	471,600	
予定価格が20万円 未満のもの				()		随				415,905	
目計										1,743,780	
合計										1,743,780	

(4-2)委託料(他課から予算の配当替を受けて執行したもの) 該当なし

18 工事請負費調べ 該当なし

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

19 財産に関する調べ
(1)公有財産
ア 土地

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況		本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	
					増加 減少				
行政財産	中小家畜試験場	南部町北方山ノ奥原1216-1外	124,741.76		増加	H	1964.02	126,679.78	
	綿屋分場敷地	南部町綿屋門ナシ108外	62,251.82		増加	H	26	62,251.82	
	計		186,993.58	0	増加	H	1938.02	188,931.60	0
普通財産					減少	H		0.00	0
					増加	H		0.00	0
	計		0.00	0	減少	H		0.00	0
合計			186,993.58	0	増加	H	1938.02	188,931.60	0

(平成23年1月31日現在)

イ 建物

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況		本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	
					増加 減少				
行政財産	本館	南部町北方	772.20	100,523,353	増加	H		772.20	100,523,353
	ボンベ庫	南部町北方	6.80	448,071	増加	H		6.80	448,071
	種雄豚舎	南部町北方	104.16	6,936,000	増加	H		104.16	6,936,000
	雌豚試験舎	南部町北方	306.85	16,450,000	増加	H		306.85	16,450,000
	分娩豚舎	南部町北方	226.40	13,251,000	増加	H		226.40	13,251,000
	子豚試験舎	南部町北方	207.36	15,504,000	増加	H		207.36	15,504,000
	第一肉豚試験舎	南部町北方	273.06	18,746,000	増加	H		273.06	18,746,000
	第二肉豚試験舎	南部町北方	132.00	10,686,000	増加	H		132.00	10,686,000
	と場	南部町北方	156.90	30,250,000	増加	H		156.90	30,250,000
	解剖舎	南部町北方	20.00	1,623,000	増加	H		20.00	1,623,000
	現場管理舎	南部町北方	70.00	4,888,000	増加	H		70.00	4,888,000
	わら収納舎	南部町北方	50.00	2,142,000	増加	H		50.00	2,142,000
	堆肥舎	南部町北方	102.00	3,717,000	増加	H		102.00	3,717,000
	飼料庫	南部町北方	126.14	7,628,000	増加	H		126.14	7,628,000
	本館車庫	南部町北方	35.75	1,452,000	増加	H		35.75	1,452,000
総合実験鶏舎	南部町北方	612.00	139,331,109	増加	H		612.00	139,331,109	

(平成23年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度末		本年度異動状況		本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	
	育成試験舎	南部町北方	396.00	24,925,972			増加	H	396.00	24,925,972	
	衛生舎	南部町北方	24.00	2,988,903			増加	H	24.00	2,988,903	
	種鶏舎	南部町北方	209.00	16,618,573			減少	H	209.00	16,618,573	
	器具庫・直庫	南部町北方	100.00	9,986,732			増加	H	100.00	9,986,732	
	鶏糞乾燥場	南部町北方	107.00	7,027,299			減少	H	107.00	7,027,299	
	鶏糞乾燥場 ボイラー室	南部町北方	10.51	647,177			増加	H	10.51	647,177	
	井戸ポンプ室	南部町原	11.68	1,401,554			減少	H	11.68	1,401,554	
	給餌場	南部町北方	32.94	2,522,532			増加	H	32.94	2,522,532	
	自転車置場	南部町北方	5.60	627,014			減少	H	5.60	627,014	
	第二分統舎	南部町北方	250.33	32,197,800			増加	H	250.33	32,197,800	
	同上採糞場	南部町北方	9.00				増加	H	9.00		
	分娩豚舎採糞場	南部町北方	9.00				減少	H	9.00		
	糞肥処理施設	南部町北方	414.80	83,366,850			増加	H	414.80	83,366,850	
	種雌種雄舎採糞場	南部町北方	23.75				減少	H	23.75		
	選抜検定豚舎	南部町北方	681.00	20,818,500			増加	H	681.00	20,818,500	
	ハイテク棟	南部町北方	150.00	14,790,765			減少	H	150.00	14,790,765	
	離乳豚舎採糞場	南部町北方	9.00	887,446			増加	H	9.00	887,446	
	種豚豚舎採糞場	南部町北方	9.00	887,446			減少	H	9.00	887,446	
	肉豚豚舎採糞場	南部町北方	9.00	887,446			増加	H	9.00	887,446	
	北方本場小計		5,663.23	594,157,542			減少	H	5,663.23	594,157,542	
	分娩豚舎	南部町絹屋	184.00	3,255,000			増加	H	184.00	3,255,000	
	育成豚舎	南部町絹屋	192.00	2,884,000			減少	H	192.00	2,884,000	
	種豚豚舎	南部町絹屋	63.75	844,500			増加	H	63.75	844,500	
	母豚群飼豚舎	南部町絹屋	201.87	1,959,500			減少	H	201.87	1,959,500	
	飼料庫	南部町絹屋	48.60	491,500			増加	H	48.60	491,500	
	管理室	南部町絹屋	67.72	1,762,000			減少	H	67.72	1,762,000	

行政財産

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度末		本年度異動状況		本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)		価額(円)
行政財産	育成試験舎	南部町北方	396.00	24,925,972	H			H	396.00	24,925,972		
	衛生舎	南部町北方	24.00	2,988,903	H			H	24.00	2,988,903		
	種鶏舎	南部町北方	209.00	16,618,573	H			H	209.00	16,618,573		
	器具庫・草庫	南部町北方	100.00	9,986,732	H			H	100.00	9,986,732		
	鶏糞乾燥場	南部町北方	107.00	7,027,299	H			H	107.00	7,027,299		
	鶏糞乾燥場 ボイラー室	南部町北方	10.51	647,177	H			H	10.51	647,177		
	井戸ポンプ室	南部町原	11.68	1,401,554	H			H	11.68	1,401,554		
	給餌場	南部町北方	32.94	2,522,532	H			H	32.94	2,522,532		
	自転車庫場	南部町北方	5.60	627,014	H			H	5.60	627,014		
	第二分統舎	南部町北方	250.33		H			H	250.33			
	同上探糞場	南部町北方	9.00	32,197,800	H			H	9.00	32,197,800		
	分娩豚舎探糞場	南部町北方	9.00		H			H	9.00			
	堆肥処理施設	南部町北方	414.80	83,366,850	H			H	414.80	83,366,850		
	種継種雄舎探糞場	南部町北方	23.75		H			H	23.75			
	選抜検定豚舎	南部町北方	681.00	20,818,500	H			H	681.00	20,818,500		
	バイオク棟	南部町北方	150.00	14,790,765	H			H	150.00	14,790,765		
	産乳豚舎探糞場	南部町北方	9.00	887,446	H			H	9.00	887,446		
	種豚豚舎探糞場	南部町北方	9.00	887,446	H			H	9.00	887,446		
	肉豚試験探糞場	南部町北方	9.00	887,446	H			H	9.00	887,446		
	北方本場小計		5,663.23	594,157,542		0			5,663.23	594,157,542		
	分統豚舎	南部町綿屋	184.00	3,255,000	H			H	184.00	3,255,000		
	育成豚舎	南部町綿屋	192.00	2,884,000	H			H	192.00	2,884,000		
	種豚豚舎	南部町綿屋	63.75	844,500	H			H	63.75	844,500		
母豚群飼豚舎	南部町綿屋	201.87	1,959,500	H			H	201.87	1,959,500			
飼料庫	南部町綿屋	48.60	491,500	H			H	48.60	491,500			
管理室	南部町綿屋	67.72	1,762,000	H			H	67.72	1,762,000			

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況		本年度末		備考					
			面積(m ²)	価額(円)	異動日	増減別	面積(m ²)	価額(円)		増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
行政財産	農機具格納庫	南部町絹屋	68.00	738,500	H	増加				H	68.00	738,500		
	コロニー舎	南部町絹屋	168.00	1,176,000	H	減少				H	168.00	1,176,000		
	便所	南部町絹屋	4.97	198,000	H	増加				H	4.97	198,000		
	種苗隊舎	南部町絹屋	259.20	16,991,000	H	減少				H	259.20	16,991,000		
	検定隊舎	南部町絹屋	216.00	14,159,000	H	増加				H	216.00	14,159,000		
	育成選抜隊舎	南部町絹屋	522.00	39,280,000	H	減少				H	522.00	39,280,000		
	分統隊舎	南部町絹屋	231.00	17,122,000	H	増加				H	231.00	17,122,000		
	種苗隊舎	南部町絹屋	238.60	13,484,898	H	減少				H	238.60	13,484,898		
	糞尿処理施設	南部町絹屋	270.00	15,965,000	H	増加				H	270.00	15,965,000		
	肥育隊舎	南部町絹屋	230.00	28,634,000	H	減少				H	230.00	28,634,000		
	実験室棟	南部町絹屋	59.80	18,849,000	H	増加				H	59.80	18,849,000		
	計	絹屋小計		3,025.51	177,793,898			0	0			3,025.51	177,793,898	
				8,688.74	771,951,440			0	0			8,688.74	771,951,440	
	普通財産													
計			0.00	0			0	0			0.00	0		
合計			8,688.74	771,951,440			0	0			8,688.74	771,951,440		

ウ山林 該当なし

エ 不動産売却 該当なし

オ 財産の交換 該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮桟橋、浮ドック、航空機) 該当なし

キ 物権 該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等) 該当なし

ケ 有価証券 該当なし

コ 出資による権利 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成23年1月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	円 40,300	円 39,000	円 43,200	円 36,100	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスフリーペードカード	0	0	0	0	
合計	40,300	39,000	43,200	36,100	

イ タクシーチケットの受払状況 該当なし

(3) 基金 該当なし

(4) 債権

(平成23年1月31日現在)

債権の名称	前年度末現在高		本年度中				本年度末現在高		備考
	金額	件数	増		減		金額	件数	
			金額	件数	金額	件数			
行政財産使用料	円 12,540	2	円 0	0	円 3,540	1	円 9,000	1	
合計	12,540	2	0	0	3,540	1	9,000	1	

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住 氏 所 名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	電気通信設備設置	南部町網屋	コンクリート柱 3本	H18.3.24	H8.4.4	H18.4.1 ~H23.3.31	月額・年額 540	540	岡山市中山下2-1-90 西日本電信電話(株)岡山支店	
	電柱支持支線設備	南部町原	支線 2条	H21.4.1	S59.8.24	H21.4.1 ~H26.3.31	月額・年額 3,000	3,000	米子市加茂町2-51 中国電力(株)米子営業所	
計								3,540		
普通財産							月額・年額			
計								0		
合計								3,540		

イ 建物 該当なし

(2) 物品 該当なし

21 借受不動産明細調べ 該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (m ²)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	中小家畜試験場(西伯郡南部町北方633)	13.5	0
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	減		増		月末日		収入済額	収入未済額
	月初日	うち減免	人	うち減免	人	うち減免		
4月	19	人	人	人	19	0	円	
5月	19				19	0		
6月	19				19	0		
7月	19				19	0		
8月	19				19	0		
9月	19				19	0		
10月	20		1		20	0		
11月	20				20	0		
12月	20				20	0		
1月	21		1		21	0		
2月					0			
3月					0			
合計							円	円

23 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本年度		修理費等	備考
					稼働 日数	(1か月平均) 走行キロ数		
小型四輪貨物	H12	鳥取400さ25-17.	H12.7.6	52,479 km	日	(404) km	円	
					78	4043	199,970	
合計		1台					199,970	

24 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

25 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	数量	(原簿年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用品定年月 日	不用品とする理由	処分			備考
							売却方法・売却理由	処分 年月日	売却額・処分 費用	
(F)エロワ・機8412)	1	H21.9.25	年	円						
(F)エロワ・機8240)	3	H21.9.25	3	63,000	H22.4.4	系統完成のため計画淘汰	売却	H22.4.5	10,384	
(F)エロワ・機7197)	1	H20.9.9	3	63,000	H22.4.4	系統完成のため計画淘汰	売却	H22.4.5	12,388	
(F)エロワ・機7104)	1	H20.9.9	3	58,019	H22.4.4	系統完成のため計画淘汰	売却	H22.4.5	12,965	
(F)エロワ・機7125)	1	H20.9.9	3	58,019	H22.4.4	系統完成のため計画淘汰	売却	H22.4.5	17,901	
(F)エロワ・機8516)	1	H21.9.25	3	63,000	H22.4.11	系統完成のため計画淘汰	売却	H22.4.12	14,060	
(F)エロワ・機8104)	3	H21.9.25	3	63,000	H22.4.11	系統完成のため計画淘汰	売却	H22.4.12	20,421	
(F)エロワ・機8262)	1	H21.6.12	3	63,000	H22.5.23	系統完成のため	売却	H22.5.24	37,800	
(F)エロワ・機7164)	1	H20.9.9	3	58,019	H22.5.26	繁殖不良のため	売却	H22.9.27	11,927	
(F)エロワ・機6290)	1	H19.5.30	3	64,768	H22.5.26	繁殖不良のため	売却	H22.5.27	12,456	
(F)エロワ・機8125)	1	H21.6.12	3	63,000	H22.5.27	繁殖不良のため	売却	H22.5.28	37,800	
(F)エロワ・機8046)	1	H21.9.25	3	63,000	H22.7.14	繁殖不良のため	売却	H22.7.15	27,005	
(F)エロワ・機8276)	1	H21.9.25	3	63,000	H22.8.19	系統完成のため計画淘汰	売却	H22.8.20	37,800	
(F)エロワ・機8297)	1	H21.9.25	3	63,000	H22.8.19	系統完成のため計画淘汰	売却	H22.8.20	37,800	
(F)エロワ・機8480)	1	H21.9.25	3	63,000	H22.8.19	系統完成のため計画淘汰	売却	H22.8.20	37,800	
(F)エロワ・機8332)	1	H21.6.12	3	63,000	H22.8.24	系統完成のため計画淘汰	売却	H22.8.25	37,800	
(LW・機8154)	1	H21.4.8	3	63,000	H22.9.5	繁殖不良のため	売却	H22.9.6	27,404	
(F)エロワ・機6157)	1	H19.5.7	3	64,768	H22.9.5	繁殖不良のため	売却	H22.9.6	29,230	
(F)エロワ・機7470)	1	H20.11.14	3	58,019	H22.9.12	繁殖不良のため	売却	H22.9.13	21,000	
(F)エロワ・機7335)	1	H20.9.9	3	58,019	H22.9.16	系統完成のため計画淘汰	売却	H22.9.17	12,600	
(F)エロワ・機8185)	1	H21.9.25	3	63,000	H22.9.16	系統完成のため計画淘汰	売却	H22.9.17	37,800	
(F)エロワ・機8484)	1	H21.9.25	3	63,000	H22.9.16	系統完成のため計画淘汰	売却	H22.9.17	37,800	
(LW・機8152)	1	H21.4.8	3	63,000	H22.9.26	繁殖不良のため	売却	H22.9.27	24,360	
(F)エロワ・機7348)	1	H20.11.14	3	58,019	H22.9.26	繁殖不良のため	売却	H22.9.27	25,493	
(F)エロワ・機7416)	1	H20.11.14	3	58,019	H22.9.26	繁殖不良のため	売却	H22.9.27	26,255	
(F)エロワ・機6228)	1	H19.10.19	3	64,768	H22.9.26	繁殖不良のため	売却	H22.9.27	29,210	
(F)エロワ・機9309)	1	H22.5.21	3	63,000	H22.10.6	繁殖不良のため	売却	H22.10.7	20,217	
(F)エロワ・機7375)	1	H20.11.14	3	58,019	H22.10.6	繁殖不良のため	売却	H22.10.7	21,886	
(F)エロワ・機7378)	1	H20.9.9	3	58,019	H22.10.12	系統完成のため計画淘汰	売却	H22.10.13	21,000	
(F)エロワ・機7126)	1	H20.3.24	3	64,768	H22.11.9	繁殖不良のため	売却	H22.11.10	23,712	
(F)エロワ・機9570)	1	H22.5.21	3	63,000	H22.11.30	繁殖不良のため	売却	H22.12.1	13,589	
(F)エロワ・機2058)	1	H21.4.1	3	54,600	H22.11.30	繁殖不良のため	売却	H22.12.1	19,837	
(F)エロワ・機2049)	1	H21.4.1	3	54,600	H22.11.30	繁殖不良のため	売却	H22.12.1	21,872	
(F)エロワ・機2048)	1	H21.4.1	3	54,500	H22.11.30	繁殖不良のため	売却	H22.12.1	25,334	
(F)エロワ・機9223)	1	H22.5.21	3	63,000	H22.12.7	繁殖不良のため	売却	H22.12.8	20,783	
(LW・機7388)	1	H20.11.14	3	58,019	H23.1.18	繁殖不良のため	売却	H23.1.19	25,317	
(F)エロワ・機2058)	1	H21.5.8	3	73,500	H23.1.18	繁殖不良のため	売却	H23.1.19	13,612	
(F)エロワ・機8102)	1	H21.9.25	3	63,000	H23.1.18	繁殖不良のため	売却	H23.1.19	20,979	
小計	38			2,329,481					905,383	
(F)エロワ・機8084)	1	H20.11.14	3	58,019	H22.4.1	心不全のため	売却	H22.4.1	0	
小計	1			58,019					0	
合計	39			2,387,500					905,383	

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

現金、有価証券 又は物品名	数量	金額	出納員又は 使用者職氏名	亡失、損傷年 月日、時	同左場所	同左概要	報告 年月日	会計局の 審査結果
隊	1	58,019 (死亡)	養豚研究室長 岡本 英夫	H22.3.31	同左場所	心不全のため死亡。	H22.4.1	賠償責任 なし
堆肥倉脱臭装置	1	17,640,000 (346,500)	環境・養豚研究室 任野 俊一	H23.1.4	中小家畜試験場養豚研究室	年末姉の家畜による盛損からの 落雪によりパイプ破損	H23.1.6	—
合計		17,351,519						

27 貸付金等状況調べ 該当なし

2.8 事業別予算執行状況調べ

目 名	農業総務費	(平成23年 1月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
農林水産試験場臨時的調査研究事業	<p>●光触媒を利用した畜産污水脱色試験</p> <p>(目的) 簡易污水处理施設では除去しにくい畜産污水の色(色度)及び化学的酸素要求量(COD)を光触媒を利用して除去する。</p> <p>(実績) 当場の污水处理施設の処理水に光触媒(酸化チタン)を混合し、紫外線を照射したところ、2～4日間で色度が82%、CODが53%除去された(実験装置)。</p>	
	<p>●肥育豚への飼料米給与の実証試験</p> <p>(目的) 2品種の飼料米(北陸193号、タカナリ)の給与による増体並びに肉質への効果を検証する。</p> <p>(実績) 市販飼料へ飼料米を品種別で15%混合し、各区8頭ずつ豚へ給与したところ、共に増体に好影響を与えた(試験期間DG: 対照区0.90、北陸193号0.92、タカナリ0.93)。</p>	

目 名	畜産振興費
事業名	事業の概要(目的、実績等)
畜産農家環境保全指導事業	<p>(目的)</p> <p>畜産農家の污水及び臭気発生状況の調査</p> <p>(実績)</p> <p>県内調査件数: 污水3件 臭気2件</p>

目 名	中小家畜試験場費
事業名	事業の概要(目的、実績等)
中小家畜試験場管理運営費	施設の保守管理等、試験場の管理運営を行なった。
開かれた畜産研究機関・交流推進事業	広く県民に対し、展示パネル等により研究成果の説明、新技術の伝達を行なった。
「鳥取地どりピヨ」の改良試験	6 主な事業に関する調べに記載 3 1 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
鶏における飼料米給与試験	3 1 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
天敵を利用したイエバエ防除試験	3 1 試験研究調査事業別実施状況調べに記載

目 名	中小家畜試験場費
高品質堆肥製造技術の検討	3 1 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
豚凍結精液の生産技術の改善試験	6 主な事業に関する調べに記載 3 1 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
鳥取県産オリジナル高品質豚開発試験	6 主な事業に関する調べに記載 3 1 試験研究調査事業別実施状況調べに記載

29 農業機械の管理状況

(平成23年1月31日現在)

品 名	型 式 及 び 規 格	取 得 年月日	用 途	稼 動 日 数 日	燃 料		修繕費等 円	左の主な内容 円	備 考
					消費量 ℓ	金 額 円			
トラクター	クボタ L1-R18	S57. 3.29	除草、除雪 等	12	軽油 21	2,478			
トラクター	クボタ KL43BMAP	H15. 9.12	除草、堆肥 運搬等	15	軽油 64	7,408			
小型ローダー	小松SK05	H5. 10.29	堆肥切り返 し	66	軽油 32	3,728	12,600	刃組替え 12,600	
ホイールロー ダー	クボタ R430Z	H21. 7.17	堆肥切り返 し	89	軽油 68	7,877	43,428	特定自主検査 43,428	
芝刈機	LM-40A	S55. 3.29	芝草刈り	0	ガソリン 0	0			
動力運搬車	カワシマ RA4WD-D	H16. 12.28	機材等の運 搬	47	ガソリン 22	3,004			
動力運搬車	カワシマ RQ4WD-DV	H7. 8.31	豚糞の運搬	129	ガソリン 61	8,346			
動力運搬車	カワシマ RQ4WD-DV	H7. 8.31	豚糞の運搬	128	ガソリン 75	10,254			
バッテリー式 運搬車	藤樹運搬 EY8-37G	H22. 7.30		78					
計					軽油 185 ガソリン 158	軽油 21,491 ガソリン 21,604	56,028	56,028	

30 生産物(品)に関する調べ

生産部門	品名種類	作付面積	生産計画数量	生産数量		場内使用	売却		目的外使用		廃棄	計		分類換	差引残	備考
				前年度からの繰越	生産購入		数量	金額	数量	金額		数量	金額			
養鶏	成鶏		462	0	462						484 へい死46 淘汰438	484	531	509		
	育成鶏		670	7,477 孵化7,377 購入100	8,147	266	399,300			3,232 へい死25 淘汰3,207	7,616	-531	0	分類換 は 成鶏へ		
	種卵		1,013	11,216	12,229	11,357				872	12,229		0			
養豚	精液	養豚	4,000	5,182	8,182	283	1,371,300	0	0	3,383	5,067	1,371,300	115			
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
養豚	動物		40	23	78		905,383			1	39	905,383	100			
	生産物		261	822	1,083		10,196,679			25	779	10,196,679	243			
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

事業名	「鳥取地どりピヨ」の改良試験		担当室別	環境・養鶏研究室
実施計画期間	15年度 ～27年度		(予算額)	(12,519,000円)
			支出済額	4,184,400円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
I 鳥取県独自の地鶏種鶏群（雄系）の改良を図る。	中小家畜試験場	交雑種選抜分 518羽 兄弟検定分 354羽	魅力的で独自性があり、高位に安定した品質を持つ血統を作出する。 (2)単冠の発現 M6兄弟検定分：23羽／冠確認羽数354羽（単冠発現率：6.5%） M6選抜分：30羽／冠確認羽数508羽（単冠発現率：5.9%） ・単冠因子保有状況（M6選抜分） 単冠因子ホモ：17羽（保有率：4.8→5.2%） 単冠因子ヘテロ：100羽（保有率：37.6→30.4%） 三枚冠因子ホモ：212羽（保有率：55.4→64.4%） (3)98日齢成績（平均体重） M6兄弟検定分：雄2545.5g/羽(16.2g↓) 雌1949.9g/羽(79.1g↑) M6選抜分：雄2539.9g/羽(3.5g↑) 雌1867.4g/羽(36.1g↑) 注) ()内数字は、前の世代の平均体重との比較 (成果) ・導入鶏から第6世代まで、引き続き、産卵率のQTL近傍マーカーの状況を確認した。 ・地どりの特徴である鶏冠の三枚冠の因子のホモ個体は64.4%に上昇し、固定が進んだ。 ・第6世代鶏での選抜に、増体と産肉量の育種価を用い、家系内で育種価の高いものを選んだ。あわせて、単冠因子保有状況と血縁係数も考慮し交配を決定した。 (成果) 6 主な事業に関する調べに記載	(試験結果) (1)M6世代の孵化 M6兄弟検定分：354羽（H22.3.2孵化） M6選抜分：518羽（H22.6.22孵化） 注)M6兄弟検定分：精肉調査調査用 M6選抜分：選抜、及び次世代作出用
II ピヨの羽色を本来の有色に戻す。	中小家畜試験場	ピヨ 13系:61羽 981×13系: 61羽	販売阻害の要因除去（白色の羽色形質の除去）を図り、より優れたピヨの母鶏を選抜する。	(試験結果) 2系統の母鶏(13系WR, 981×13系WR)由来のピヨを作出し、肥育試験を実施した。 ・羽色については、全て有色であるが、981×13系ピヨは羽色にばらつきが見られた。 ・増体性については、13系ピヨの方が雌雄とも優れる傾向であった。 14週齢平均体重 13系ピヨ雄：4306g 13系ピヨ雌：2946g 981×13系ピヨ雄：4206g

				981×13系ピヨ雌：2884g (成果) 6 主な事業に関する調べに記載
				(課題) 6 主な事業に関する調べに記載
Ⅲピヨのヒナを生産し、農家へ安定的に供給する。	中小家畜試験場	種鶏（母鶏） ・H21.12 導入85羽 ・H22.5 導入100羽	ヒナ供給：年間4000羽	(試験結果) ふ卵技術の改善を図り、孵化率の向上に努めた。 対入卵孵化率 74.3% (H21:48.4%)
				(成果) 6 主な事業に関する調べに記載
				(課題)
				6 主な事業に関する調べに記載

事業名	鶏における飼料米給与試験		担当室別	環境・養鶏研究室
実施計画期間	H21年度 ～ 22年度		(予算額) 支出済額	(863,000円) 574,650円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料米給与試験を本県の地鶏を対象として行い、飼料給与技術の確立を図る。	中小家畜試験場	GSR 45羽×3区 (餌付け羽数)	<p>収穫した品種の飼料米（モミ米）を地鶏（GSR）に給与し、体重の増加量、飼料要求率、産肉量、産卵成績に及ぼす影響を調査し、適正給与量を検討する。</p> <p>（試験結果）</p> <p>(1) 試験計画概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験期間：平成22年3月2日～平成23年3月1日までの52週間。 ・供試鶏および試験区：供試鶏は地鶏交雑種（シャモミ×ロードアイランド♀）、試験区1、2、対照区それぞれ46羽ずつとし、試験区1、2は、5～52週齢の48週間、市販飼料に重量比10%、30%の飼料米を市販飼料に添加し、対照区は無添加とした。 ・調査内容：①体重、飼料摂取量、消化状況、育成率、精肉調査等（モモ、ムネ、ササミ、腹腔内脂肪、筋胃、肝臓、心臓の重量）、肉色（モモ、腹腔内脂肪、肝臓）、②鶏肉および鶏卵成分分析、③雄は105日で精肉調査し、雌はそれ以降、産卵成績を調査した。卵肉の成分分析は調査中。 <p>(2) 成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産肉成績 <p>98日齢体重（35～104日齢間）</p> <p>試験区1：雄2475g(期間日増体量29.3g) 期間飼料要求率3.88 雌1827g(20.3)</p> <p>試験区2：雄2568g(期間日増体量31.1g) 期間飼料要求率3.79 雌1787g(20.0)</p> <p>対照区：雄2511g(期間日増体量30.2g) 期間飼料要求率4.21 雌1747g(19.4)</p> <p>精肉調査では、試験区間で筋胃重量および腸管重量、モモ肉のと体重割合、肝臓の色度、半膜様筋の明度において差が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産卵成績 25～40週齢産卵率（平均卵重35-39週） <p>試験区1：74.9% (51.9g)</p> <p>試験区2：74.3% (51.6g)</p> <p>対照区：68.4% (49.6g)</p> <p>(成果)</p> <p>試験用のひなを生産し、モミ米10%、30%添加区、対照区を設定した。産肉成績についてマイナスの影響は無かった。産卵成績は添加区で産卵率が良好な傾向があった。</p>	<p>(試験結果)</p> <p>(1) 試験計画概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験期間：平成22年3月2日～平成23年3月1日までの52週間。 ・供試鶏および試験区：供試鶏は地鶏交雑種（シャモミ×ロードアイランド♀）、試験区1、2、対照区それぞれ46羽ずつとし、試験区1、2は、5～52週齢の48週間、市販飼料に重量比10%、30%の飼料米を市販飼料に添加し、対照区は無添加とした。 ・調査内容：①体重、飼料摂取量、消化状況、育成率、精肉調査等（モモ、ムネ、ササミ、腹腔内脂肪、筋胃、肝臓、心臓の重量）、肉色（モモ、腹腔内脂肪、肝臓）、②鶏肉および鶏卵成分分析、③雄は105日で精肉調査し、雌はそれ以降、産卵成績を調査した。卵肉の成分分析は調査中。 <p>(2) 成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産肉成績 <p>98日齢体重（35～104日齢間）</p> <p>試験区1：雄2475g(期間日増体量29.3g) 期間飼料要求率3.88 雌1827g(20.3)</p> <p>試験区2：雄2568g(期間日増体量31.1g) 期間飼料要求率3.79 雌1787g(20.0)</p> <p>対照区：雄2511g(期間日増体量30.2g) 期間飼料要求率4.21 雌1747g(19.4)</p> <p>精肉調査では、試験区間で筋胃重量および腸管重量、モモ肉のと体重割合、肝臓の色度、半膜様筋の明度において差が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産卵成績 25～40週齢産卵率（平均卵重35-39週） <p>試験区1：74.9% (51.9g)</p> <p>試験区2：74.3% (51.6g)</p> <p>対照区：68.4% (49.6g)</p> <p>(成果)</p> <p>試験用のひなを生産し、モミ米10%、30%添加区、対照区を設定した。産肉成績についてマイナスの影響は無かった。産卵成績は添加区で産卵率が良好な傾向があった。</p>
				<p>(課題)</p> <p>普及に向けて、生産現場で実施可能な給与方法を情報提供していく必要がある。</p>

事業名	高品質堆肥製造技術の検討		担当室別	環境・養鶏研究室	
実施計画期間	平成21年度 ～平成22年度		(予算額)	(1,296,000円)	
			支出済額	912,800円	
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標		試験研究調査の成果・課題
化学肥料の代替として利用できる窒素、リン酸成分の高い堆肥の製造技術を検討する。	中小家畜試験場	(1)豚糞 5m3 (2)豚糞 20kg (3)豚汚水 1.5m3/日	(1)堆肥化過程で発生するアンモニア(NH3)を完熟堆肥に吸着させることにより窒素成分量を向上させる。 (2)堆肥化過程で発生する亜酸化窒素(N2O)の揮散を抑制することで窒素成分量を向上させる。窒素成分量は(1)と(2)を合わせて2.0→4.0%(乾物あたり)に向上させる。 (3)豚汚水からリン酸を回収する。		(成果) (1)堆肥中の窒素成分量は、2.3→3.6%(乾物あたり)に向上させることができた。 (2)亜酸化窒素は、完熟堆肥添加により41～51%抑制され、硝酸態窒素は0.30%(乾物あたり)向上した。 (3)豚汚水からのリン酸回収は、気温の高い夏季限定であったが、200g以上/週回収することができた。 (課題) 豚汚水からのリン酸回収量を増やすための工夫が必要である。

事業名	天敵を利用したイエバエ防除試験		担当室別	環境・養鶏研究室	
実施計画期間	平成22年度 ～平成24年度		(予算額)	(826,000円)	
			支出済額	754,300円	
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標		試験研究調査の成果・課題
イエバエの天敵昆虫を利用した防除により、殺虫剤使用量を削減し、環境にやさしい畜産を推進する。	中小家畜試験場	(1)天敵昆虫5種130匹	(1)採卵鶏農場における天敵昆虫相調査 (2)天敵昆虫のイエバエ幼虫(ウジ)捕食能力調査		(成果) (1)採卵鶏農場における鶏糞中の天敵昆虫相を調査したところ、7種が確認された。 (2)採卵鶏農場から天敵を持ち帰り、イエバエ幼虫(ウジ)の捕食能力を調査したところ、捕食能力は天敵10匹当たり0～75匹/日で、種により大きな差が見られ、エンマムシが最大であった。 (課題) 天敵の繁殖方法の確立 殺虫剤削減効果の検証

事業名	豚凍結精液の生産技術の改善試験		担当室別	養豚研究室
実施計画期間	21年度 ～ 23年度		(予算額)	(22,701,000円)
			支出済額	13,053,250円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
(単) 1. 肉豚生産農場でも使える融解後の活力の高い凍結精液の生産技術を確立する。 2. 維持及び生産管理している系統豚「大山赤ぶた(デュロック種)」等の種雄豚の液状精液を供給することにより、農家の生産性の向上及び及び利益の増大を図る。	当场 養豚農家 生産現場	雄19頭 精液 3,000本	6 主な事業に関する調べに記載	(成果) 1) 凍結精液による産子数を向上させるため、精液を子宮に注入する深部注入カテーテルによる交配試験を行った。試験場内での凍結精液による受胎率は、89% (9頭中8頭)。その内、深部注入法では100% (4頭中4頭) と液状精液と同等の受胎率となった。産子数は、今後の分娩により確定する。 2) 大山赤ぶたでの近親交配を避けた交配を行なった。また、肢蹄の改良が進んだ。
				(結果) 1) 農家実証試験の受胎率は、液状精液(対照区)が71% (7頭中5頭) に対し、凍結精液63% (8頭中5頭) であった。深部注入カテーテルが、ゴム管式で収縮するため、注入の際に泡立ち、精子活性を著しく損なうことがその原因として判明した。
				(課題) 6 主な事業に関する調べに記載

事業名	鳥取県産オリジナル高品質豚開発試験		担当室別	養豚研究室
実施計画期間	22年度 ～ 25年度		(予算額) 支出済額	(13,064,000円) 9,285,200円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
高品質でオリジナル性の高い鳥取県独自の特産豚「大山ルビー」(D B)を開発し、養豚農家の所得向上を図る。	当场 養豚農家 生産現場	黒豚(バークシャー種) 雌豚20頭 黒豚(バークシャー種) 交配精液 6種雄豚 肥育試験 豚26頭	6 主な事業に関する調べに記載	(成果) 基礎雌豚は、血統的にバラツキのある個体20頭を導入し、肉質系及び増体系の6頭の種雄豚との交配をすることができた。17頭が受胎確認済み。3月以降1世代目の黒豚(バークシャー種)が分娩予定。 肥育試験は現在実施途中のため、今後分析結果を出す予定。 (課題) 6 主な事業に関する調べに記載

○ 意見、要望等
(1) 業務に関する要望等
特になし

--

(2) 監査委員事務局に対する意見、要望等
特になし

--